



郡山市立谷田川小学校 学校だより

宇津峰

令和 7年度 第20号
令和 7年 9月17日
文責 校長 山下嘉寿夫

運動会ムードが高まってきました ～どうか、晴れてください～

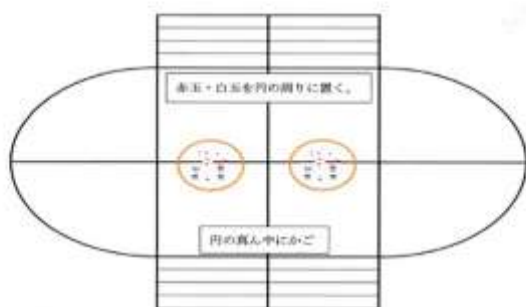
運動会を 21 日に控え、各学年の練習、準備が迫り込みに入り、学校内は運動会ムードで盛り上がっています。練習の成果をいかし、自分のため、友達のため、チームのため、当日は心を一つに、子ども達は躍動してくれるに違いありません。運動会は、競技種目に参加するだけでなく、開閉会式での役割、競技中の係などやるべき事が数多くあります。運動会は日頃の運動成果を発揮し、運動に親しんでいこうとする態度を育てることを主の目的としますが、それぞれの立場や役割で、精一杯取り組んで達成感を得ることも大切な目的の一つになっています。是非、運動会当日は競技以外の子ども達の動きにも注目していただければと思います。もちろん、競技者への盛大な応援もよろしくお願いいたします。そして、晴れることを祈ってください。



PTA 種目、今年は2種目「大玉送り」「紅白玉入れ」～内容をご確認ください～

PAT 玉入れ（谷田川小保護者・卒業生）

場所（玉入れの円付近に集合し、学校側で人数の調整を行う。）

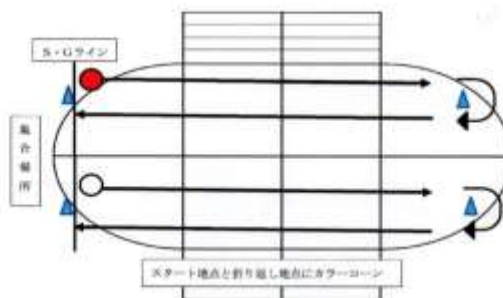


競技説明及び判定資料

- PAT が円（事前作図しておく）になり、円の外側から1つのかごに自分の色の玉を投げる。
- 全員で玉を投げ多く玉が入った方が勝ち。
- 飾り玉を1つ入れておき、放送の掛け声に合わせて、数を数える。
- かごを持つ係2名

PAT 大玉運び（谷田川小保護者・卒業生）

場所（校庭の西側カラーコーン付近に集合し、学校側で人数の調整を行う。）



競技説明及び判定資料

- ビストルの合図でS・Gラインから折り返し方向に2列に整列して、頭の上を手で大玉を送っていく。送った人は列の前に走り大玉を送っていく。カラーコーンを折り返す。
- 大玉がS・Gラインに早く達したチームの勝ち。
- 大玉が地面に落ちたら、落ちた地点から再開する。
- 折り返し地点に係2名

《運動会種目参加にあたってのお願い》

- 参加者は保護者の皆様だけではなく、応援に来てくださった方が対象です。安全確保のため小さなお子さんの参加はご遠慮ください。
- 競技時刻になりましたら放送で声を掛けますので、競技場所にお集まりください。どちらの競技も予めチームは決めますので、人数のバランスを見て動いていただけると助かります。（職員が人数の最終調整を行います。）

「サンマ」が足りない現代の子どもたち ～非認知能力を伸ばすために～

今年は秋刀魚が豊漁で、サイズも値段も脂の乗りもよく、久しぶりに秋刀魚を堪能しています。しかも秋刀魚は、健康に役立つ様々な栄養素が豊富に含まれ、血液をサラサラにしたり、脳の活性化につながったりする大変良い食材でもあるようです。と、秋刀魚の話をしてしまいましたが、今回の話の中心は「秋刀魚」ではなく、「三間（サンマ）」についてです。

現代の子どもたちには「三間（サンマ）」が足りないと言われています。「三間」とは、思う存分遊ぶための「空（間）」「時（間）」「仲（間）」のことです。豊かな「サンマ」の中でたっぷり遊ぶことで、コミュニケーション能力、協働性、共感性、自己肯定感、課題発見・解決能力等、いわゆる非認知能力が伸ばされると言われています。ですが、現代の社会環境は「サンマ」を確保しにくい時代であり、非認知能力を伸ばす機会が減少していることが考えられます。ところが、それとは逆に、予想不可能な現代において、非認知能力が必要不可欠な能力であるとも言われています。この矛盾をどう埋めれば良いのか…。豊かな「サンマ」を整えるのは、子ども達の力だけでは困難です。大人が意識し、環境を整える必要があります。そこで、10月から11月にかけて3回ある三連休を有効活用してみてもはどうでしょうか。子ども達が思い切り遊ぶ時間と場所を確保し、大人数でBBQをして「秋刀魚」を焼いて楽しむ、なんていう過ごし方を提案してみます。



知っておこう、公衆電話の使い方 ～もしものに備えて～

携帯電話やスマートフォンの普及により、公衆電話を使う機会がずいぶん減ってしまいました。最近使ったのがいつだったか、思い出すのも困難です。しかし、もしもの時、この公衆電話は威力を発揮します。そこで、防災訓練の一環として、非常時に公衆電話を使えるよう、保健室前掲示に公衆電話が登場しました。子ども達は「見たことある」と言いながら、受話器を取って耳に当てたり、どんなボタンがついているのか見てみたり、興味深そうにしてみました。公衆電話の数は減りましたが、いざという時のために場所の確認は必要かもしれませんね。



ヤワな大人にならない「生きかたルールブック」 ～ その十七 ～

《生き方ルール22》

「相手を追いつめすぎない」

人生には、勝ち負けが決まる場面がある。もし君が勝っても、相手をバカにしたり笑ったりしない。いつもと変わらない態度でいる。それが勝ち方のマナーだよ。

【ちょっと一息 コーヒーブレイク】 ～子どもとの話題作りに～

日本で最初の運動会は、明治7年に東京の海軍兵学寮で開催された「競闘遊戯会（きょうとうゆうぎかい）」だとされています。この運動会にはユニークな種目名の競技がありました。今の運動会ではあまりやらない幅跳びや高跳びも種目にあったようで、幅跳びは「トビウオの波きり」高跳びは「ボラの網越え」といった名前が付けられました。そこで、今回は運動会の種目名についての問題です。この時の運動会で、12歳以下の子ども達が走る徒競走の種目名とはどんな名前だったのでしょうか。

- ① すずめの巣立ち ② つばめの飛び習い ③ 子ガモの川渡り

前回の答えは③ 時速1300km（マッハ11）でした。